

新入生へ
医学部長 原田康夫

御入学おめでとうございます。

皆さんは非常な難関を突破してようこそ我が医学部に入学してこられました。あなた方こそ21世紀の医療の担い手となる世代です。今医療の世界は大きく変貌しています。皆さん御存知のように臓器移植としての生体肝移植もまもなく我々の医学部附属病院で行われるようになるはずで、移植外科は諸君らの時代には一般的な医療の1つとなることでしょう。私が医学生の時には抗生物質の発見でようやく感染症に対する糸口がみえてきたころでした。その後の医療の進歩にはまったく眼をみはるものがあり、それに附随して乳児死亡率も世界的に低下し、伝染病、一般感染症が制御され世界的に平均寿命が著しく伸びました。これから諸君の時代は、癌とウィルス疾患に対する戦略、戦術で医療の世界は動いて行くことでしょう。また、同時に移植外科が花を開き、その周辺医療は大きく進歩することと思います。特に免疫学は癌治療と

移植外科の周辺医療の基礎としてすさまじく進歩してきており、これからの医学教育の内容も大きく変わって行くものと思います。

これらの新しい医療の担い手となる皆さんは、大きく変わって行く医療の中で自分がどの役割を果たすべきかを考えるようになるでしょう。しかしその前に、諸君がよき医師となるための教育も身につけなければなりません。本学の学部教育が始まるのは医学進学課程をすませてからですから、すぐにも医学をと思って入って来た諸君は少し気がぬけることになるかもしれません。しかし、これからの医学・薬学を学ぶ人達の人間性をたかめ、国際性豊かな人として育つためには、ぜひとも基礎的な学問としての教養の学問をおろそかにしないでほしいと思います。特に語学については、この時期こそ自分の能力をのばす最良の時と思われる。

どうか楽しく、充実した学生生活を送って下さい。